

あ み だ じ
阿 弥 陀 寺
だ よ り

2017年 3月 1日 第 32号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

☎ 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

☎ (096) 289-0424 ☎ (096) 297-9161

✉ amidaji@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ 金剛山 阿弥陀寺 検索

郵便振替:01710-8-68921 加入者名:阿弥陀寺事務所



鳥のさえずりが聞こえる

大谷 義文

「春眠曉を覚えず」

昔の人は、「春のうららの隅田川」、桜の満開を「かすみか雲か」、入り日が薄れると「おぼろ月夜」と、春愁を感じ楽しんだ。そんな日の深夜、突然の爆音、大きな横揺れが町を襲った。急ぎよ、小中学校の校庭、体育館が避難所になり多くの方が身を寄せた。

ある日、休校になった娘がそこへ手伝いに行く準備を始めた。厚紙に大きな字で「聞きたいことありませんか」と書き、自転車のかごにぶら下げ、出かけて行ったのだ。

次の日、「もう、やめた」と言いつて帰って来た。理由を聞くと、呼び止めてくれるものの、誰もが「この余震は、いつ止むのか」と聞いてくるので、答えられないという。

あれから一年。先日、我が家の解体をじっと見

つめる人がいた。近づいても目を合わせず、「悲しかな」と一言。

「かなし」とは、自分の力の限界に立つて、どうすることもできない状態を表す。だから、別れ際の感情に用いられるのだろう。

「お坊さん、念仏していてもだめだったな」と、家が倒壊した方に言われた。その通りだ。悲しみの世に生きているのだとお釈迦さまは説かれる。ある法事の後、「あなた、何を持って避難した」とおばあさん。「私は主人の写真」、「私は母の位牌」と会話が聞こえてきた。

ご先祖も、悲しみの世を生きてきた。そんな方々の形見や思いが、私たちの生きる力になっっていることを教えられた。

南無阿弥陀仏とは、転ばぬ先の杖ではないことを彼岸から報らされる。

佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

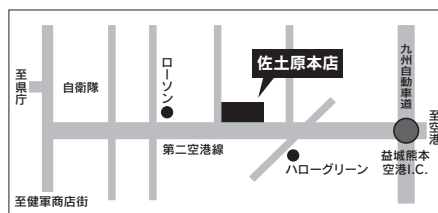
営業時間

昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)

夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)

定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)

7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>



蒲公の黄に齋のしろう咲きたる
見る人ぞなき



「北寿老仙をいたむ」与謝蕪村

『御修行奮闘記』
釋・博真（栃原真人）



ナブナは、果実の形が三味線の
パチに似ているので、へんぺん草。
子どもの頃、でんでん太鼓を鳴ら
すように、くるくる回して遊んだ。
たんぽぽも、つつみ草と呼ばれ、
鼓の音を意味する言葉であつた。

していると、ご先祖が暮
らした村が見えた。見渡
すかぎりの自然は圧倒的
だ。この自然のなかで何
を大事にして生きてこら
れたのだろうか。町に暮
らす私には計り知れない。
そして、娘に何を伝える
べきか迷っている私を、
ご先祖はどうご覧になっ
ているだろうか。この地
でのちを継がれた方々
を思い、「南無阿弥陀仏」
と念仏を称えた。



修繕されたお墓

報恩講

親鸞聖人ご法事



法話は大谷義文。「因」という字は人が大の字で寝ている姿。たくさん条件が整わなければそれは成り立たない。そのあ



りがたさに「心」を寄せると「恩」になる。報恩講を勤める意義を話した。柳家松太郎師匠のご登場。純白の着物に、はさ

差し向け布教

納骨堂追弔 永代経 法要

2月20日（月）、差し向け布教が勤まりました。滋賀県草津市、常教寺住職、仲井秀明布教使にお話をいただきました。

私たちの生き方は、わかっていて、知っているで済まされている。大事なことは、問いを持つことである。

ウグイスの鳴き声は、なぜ「ホケキョウ」と聞こえるのか。蓮の花は、なぜ汚泥華と書くのか。



仲井秀明 布教使

昨年ホ子屋 歳暮の会

昨年末、恒例の「歳暮の会」がありました。「嘆仏偈」を読経後、香西先生にご指導いただき皆さんと第九をドイツ語で歌いました。後半は、クリスマスソングを合唱しました。



第九を歌う！ドイツ語！



クリスマスソング！

私ごと、「30年ぶり」が最近のキーワード。昨年末に、昔仕事でお世話になった大先輩に仙台で再会。次に、大学の同窓と上野で再会。もう、うれしくて、あちらこちらの暖簾をくぐり、へべれけになるまで飲みました。そして先月、八代にあるジャズバー「ファースト」の店主と再会。当時、失職し途方に暮れていた私を暖かく見守ってくれた人。やはり、窮地に立った時の優しさは忘れません。どの出会いも30年ぶりで、ちよつと照れくさい感じでしたが、そこはジャズという音楽が遠く離れた2人の心をつ結び直

皆さん、こんにちは。総代の森雄二です。社会保険労務士をしています。ジャズに熱狂した、青春時代を回想し、ひと言つぶやきたいと思っています。どうぞお付き合ひお願いします。



森社会保険労務士事務所

代表 森 雄二（阿弥陀寺 総代）

〒862-0941 熊本市中央区出水1丁目1-25 サントビル3A-5
TEL:096-289-5570 携帯:090-1974-5405
E-mail:srmori1@r8.dion.ne.jp

- 労働相談
- 年金講演
- ライフワークセミナー



阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン
（家族・親族の安心プラン）
他のプランもございます。

30万円より
以下の内容が含まれます。

御棺一式 納骨一式 霊柩搬送 ドライアイス 遺影写真 生花祭壇

含まれないもの・・・返礼品、食事、火葬料金

想いを込めた送り方

想送の木山葬儀社

お問い合わせは！（24時間）
益城町宮園 547-3 096-286-4640
携帯 080-5214-4640
メール info@kiyamasougi.com

春・彼岸会法要

日時・3月19日(日)

午後1時30分 読経

2時00分 法話(午後4時30分終了後、懇親会)

講題・「精神科医と能楽師と読む、『観音経』」

法話・安田登 師 (東京 能楽師・宝生流ワキ方)

大島淑夫 師 (東京 精神科医)

※参加費はお賽銭。懇親会費は1000円。(1人)

復興の木プロジェクト in 熊本

熊本地震追弔法要 植樹セレモニーと講演会

日時・4月23日(日) 午後1時(終了後、団子汁懇親会)

講師・岡本翔馬 師(桜ライン311代表) 岩手県陸前高田市

※参加費はお賽銭。懇親会費は1000円。(1人)

寺子屋

日時・5月21日(日) 午後2時から5時(終了後、懇親会)

講題・「ええっ!鍵盤ハーモニカでこんなことができるの?」

ー鍵盤ハーモニカと『論語』ー

講師・安田登 師 (東京 能楽師・こども能チャレンジ講師)

講師・南川朱生 師 (東京 鍵盤ハーモニカ奏者 研究家)

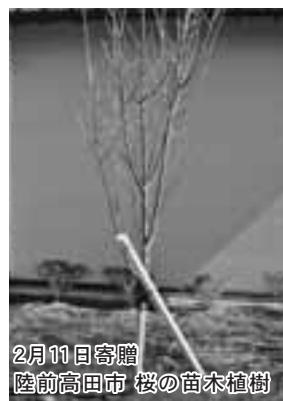
※参加費はお賽銭。懇親会費は1000円。(1人)

復興の木プロジェクト in 熊本

インターナショナル「出あいの村」

また「出あいの村」

「出あいの村」、代表を勤める安藤静夫さん。世界の人がそれぞれ土地の人たちと交流する場所を作りたいと30年前に、大分市桜ヶ丘に立ち上げられました。そこで活動されている、高校教諭、糸永伸哉さんが阿弥陀寺の寺子屋に参加されたご縁で、実現しました。



2月11日寄贈
陸前高田市 桜の苗木植樹

猫伏石の声

☞夏「おばけ合宿」

8月16日(水)

午後1時 受付

17日(木) 昼、解散

参加費 5000円

(小中学生、一泊食事込)

講師 安田登 師

梶宅聡 師

東雅夫 師

怪談、幻想的なお話の解説と朗読等。小中学生は、お寺に宿泊。大人も参加自由。詳細は次号。

図書紹介



『文豪ノ怪談』

ジュニア・セ렉ション

東雅夫【編】

発行所 汐文社

定価 1600円+税

〔夢〕、〔恋〕、〔霊〕、〔獣〕、

〔呪〕〔全5巻〕古今の

文豪が手がけた作品集。

葬儀・祭壇 熊本県儀式共済グループ

ハタオ葬儀社 水前寺斎場

熊本市中央区国府1丁目12-3
TEL.096-364-3220 (代)

豊住葬祭 豊住斎場

熊本市中央区河原町23
TEL.096-324-4848 (代)